

北海道教育大学教育学部芸術・スポーツ文化学科の教育課程編成・実施の方針  
(カリキュラム・ポリシー)

(平成29年3月28日制定)

(平成30年12月25日改正)

(令和4年3月24日改正)

「北海道教育大学憲章」に示す「芸術・スポーツの専門性を高め、地域の多様なニーズに応えるための活動を市民とともに実践し、地域の健康と文化振興に貢献できる人材を育成する」という本学の教育に関する目標に基づき策定された、本学教育学部芸術・スポーツ文化学科の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を達成するため、以下の方針で教育課程を編成し、実施します。

【教育課程の編成の方針】

○芸術・スポーツビジネス専攻

科目区分		目的
教養科目	共通基礎科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、大学で学ぶ者としての基本的な資質を身に付ける科目や、芸術やスポーツの専門性を高める上で必要な言語を学ぶ科目で構成する。
	基礎教養科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、芸術やスポーツの専門性を探究していく上で必須となる「人文、社会、自然科学」領域の科目で構成する。
	現代的教養科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、「生涯学習概論」など、地域社会で活躍できるようになるための実践的な知識を修得することを目的とする科目(キャリア関係科目を含む。)で構成する。
学科共通科目	文化基礎科目	芸術文化(音楽文化、美術文化)、スポーツ文化の基礎知識を修得する科目であり、学生が所属する専攻以外の領域、すなわち他分野の基礎的知識の獲得を通して、横断的に学ぶことを目的とする。
	文化共通科目	文化の多面性を理解し、テーマに内在する多様な文化の共通要素を理解することを目的とする。「感性」「身体」「表現」という芸術やスポーツの根源ともいえる共通テーマを必修科目とし、さらに「自然」「社会」「対話」「多様性」「革新技術」「国際化」といった芸術とスポーツを学ぶ者にとって共通するテーマを選択科目とする。これらの選択科目では、各テーマについて多様な文化的視点から議論し、芸術・スポーツの多様な分野におけるアプローチや認識の違いを総合的に学ぶ。
	ビジネス科目	地域をフィールドとした文化実践を行うために必要な芸術・スポーツ文化ビジネスに関する基礎知識を獲得することを目的とする。
	地域実践プロジェクト科目	芸術・スポーツによる文化振興の可能性について、地域における実践体験を通して探究し、芸術・スポーツ文化の社会における役割や意義について深く考察する実践科目であり、学外のフィールドでの経験を通じ、社会の中で求められていること、それに応えるために身に付けなければならない資質について、1～4年次を通じて考えることを目的とする。
専門科目	専攻専門科目	芸術・スポーツビジネス専攻の特色を生かした理論・演習・実技・実習科目により、より広くより深く専門的な知識や技術を学ぶことを目的とする。
	卒業研究	卒業年次において、各専攻の研究課題について学生指導教員の指導を受けて研究を行うものとする。
研究発展科目		学生の自主的な学修計画に基づき、希望する科目等を選択により履修し、自分の研究を充実することを目的とする。

○音楽文化専攻

科目区分		目的
教養科目	共通基礎科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、大学で学ぶ者としての基本的な資質を身につける科目や、芸術やスポーツの専門性を高める上で必要な言語を学ぶ科目で構成する。
	基礎教養科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、芸術やスポーツの専門性を探究していく上で必須となる「人文、社会、自然科学」領域の科目で構成する。
	現代的教養科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、「生涯学習概論」など、地域社会で活躍できるようになるための実践的な知識を修得することを目的とする科目（キャリア関係科目を含む。）で構成する。
学科共通科目	文化基礎科目	芸術文化（音楽文化、美術文化）、スポーツ文化の基礎知識を修得する科目であり、学生が所属する専攻以外の領域、すなわち他分野の基礎的知識の獲得を通して、横断的に学ぶことを目的とする。
	文化共通科目	文化の多面性を理解し、テーマに内在する多様な文化の共通要素を理解することを目的とする。「感性」「身体」「表現」という芸術やスポーツの根源ともいえる共通テーマを必修科目とし、さらに「自然」「社会」「対話」「多様性」「革新技術」「国際化」といった芸術とスポーツを学ぶ者にとって共通するテーマを選択科目とする。これらの選択科目では、各テーマについて多様な文化的視点から議論し、芸術・スポーツの多様な分野におけるアプローチや認識の違いを総合的に学ぶ。
	ビジネス科目	地域をフィールドとした文化実践を行うために必要な芸術・スポーツ文化ビジネスに関する基礎知識を獲得することを目的とする。
	地域実践プロジェクト科目	芸術・スポーツによる文化振興の可能性について、地域における実践体験を通して探究し、芸術・スポーツ文化の社会における役割や意義について深く考察する実践科目であり、学外のフィールドでの経験を通じ、社会の中で求められていること、それに応えるために身に付けなければならない資質について、1～4年次を通じて考えることを目的とする。
専門科目	専攻専門科目	音楽文化専攻の特色を生かした理論・演習・実技・実習科目により、より広くより深く専門的な知識や技術を学ぶことを目的とする。
	卒業研究	卒業年次において、各専攻の研究課題について学生指導教員の指導を受けて研究を行うものとする。
研究発展科目		学生の自主的な学修計画に基づき、希望する科目等を選択により履修し、自分の研究を充実することを目的とする。

○美術文化専攻

科目区分		目的
教養科目	共通基礎科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、大学で学ぶ者としての基本的な資質を身につける科目や、芸術やスポーツの専門性を高める上で必要な言語を学ぶ科目で構成する。
	基礎教養科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、芸術やスポーツの専門性を探究していく上で必須となる「人文、社会、自然科学」領域の科目で構成する。
	現代的教養科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、「生涯学習概論」など、地域社会で活躍できるようになるための実践的な知識を修得することを目的とする科目（キャリア関係科目を含む。）で構成する。
学科共通科目	文化基礎科目	芸術文化（音楽文化、美術文化）、スポーツ文化の基礎知識を修得する科目であり、学生が所属する専攻以外の領域、すなわち他分野の基礎的知識の獲得を通して、横断的に学ぶことを目的とする。
	文化共通科目	文化の多面性を理解し、テーマに内在する多様な文化の共通要素を理解することを目的とする。「感性」「身体」「表現」という芸術やスポーツの根源ともいえる共通テーマを必修科目とし、さらに「自然」「社会」「対話」「多様性」「革新技術」「国際化」といった芸術とスポーツを学ぶ者にとって共通するテーマを選択科目とする。これらの選択科目では、各テーマについて多様な文化的視点から議論し、芸術・スポーツの多様な分野におけるアプローチや認識の違いを総合的に学ぶ。
	ビジネス科目	地域をフィールドとした文化実践を行うために必要な芸術・スポーツ文化ビジネスに関する基礎知識を獲得することを目的とする。
	地域実践プロジェクト科目	芸術・スポーツによる文化振興の可能性について、地域における実践体験を通して探究し、芸術・スポーツ文化の社会における役割や意義について深く考察する実践科目であり、学外のフィールドでの経験を通じ、社会の中で求められていること、それに応えるために身に付けなければならない資質について、1～4年次を通じて考えることを目的とする。
専門科目	専攻専門科目	美術文化専攻の特色を生かした理論・演習・実技・実習科目により、より広くより深く専門的な知識や技術を学ぶことを目的とする。
	卒業研究	卒業年次において、各専攻の研究課題について学生指導教員の指導を受けて研究を行うものとする。
研究発展科目		学生の自主的な学修計画に基づき、希望する科目等を選択により履修し、自分の研究を充実することを目的とする。

○スポーツ文化専攻

科目区分		目的
教養科目	共通基礎科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、大学で学ぶ者としての基本的な資質を身につける科目や、芸術やスポーツの専門性を高める上で必要な言語を学ぶ科目で構成する。
	基礎教養科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、芸術やスポーツの専門性を探究していく上で必須となる「人文、社会、自然科学」領域の科目で構成する。
	現代的教養科目	大学で学ぶ者にとって基礎となる資質を身に付けることを目的として、1～3年次で履修するものとし、「生涯学習概論」など、地域社会で活躍できるようになるための実践的な知識を修得することを目的とする科目（キャリア関係科目を含む。）で構成する。
学科共通科目	文化基礎科目	芸術文化（音楽文化、美術文化）、スポーツ文化の基礎知識を修得する科目であり、学生が所属する専攻以外の領域、すなわち他分野の基礎的知識の獲得を通して、横断的に学ぶことを目的とする。
	文化共通科目	文化の多面性を理解し、テーマに内在する多様な文化の共通要素を理解することを目的とする。「感性」「身体」「表現」という芸術やスポーツの根源ともいえる共通テーマを必修科目とし、さらに「自然」「社会」「対話」「多様性」「革新技術」「国際化」といった芸術とスポーツを学ぶ者にとって共通するテーマを選択科目とする。これらの選択科目では、各テーマについて多様な文化的視点から議論し、芸術・スポーツの多様な分野におけるアプローチや認識の違いを総合的に学ぶ。
	ビジネス科目	地域をフィールドとした文化実践を行うために必要な芸術・スポーツ文化ビジネスに関する基礎知識を獲得することを目的とする。
	地域実践プロジェクト科目	芸術・スポーツによる文化振興の可能性について、地域における実践体験を通して探究し、芸術・スポーツ文化の社会における役割や意義について深く考察する実践科目であり、学外のフィールドでの経験を通じ、社会の中で求められていること、それに応えるために身に付けなければならない資質について、1～4年次を通じて考えることを目的とする。
専門科目	専攻専門科目	スポーツ文化専攻の特色を生かした理論・演習・実技・実習科目により、より広くより深く専門的な知識や技術を学ぶことを目的とする。
	卒業研究	卒業年次において、各専攻の研究課題について学生指導教員の指導を受けて研究を行うものとする。
研究発展科目		学生の自主的な学修計画に基づき、希望する科目等を選択により履修し、自分の研究を充実することを目的とする。

#### 【教育課程の実施の方針】(各専攻共通)

○ 教育課程の編成の方針に基づき、各科目の授業を具体的に展開するものとし、次に掲げる取組を実施します。

- ・教養科目では、学生が幅広い教養を身に付けるため、学びの基礎的スキルや人文・社会・自然の領域に関する基礎的知識を修得できる教育を実施します。あわせて、生涯にわたる健康維持及び学習の在り方についての学びを深めることにより、持続可能な社会の実現にとっての現代社会での諸課題を複眼的・総合的に理解できるような教育を実施します。
- ・学科共通科目では、文化資源としての芸術とスポーツの理解を深めるとともに、ビジネス的視点からのそれらの再認識と地域での実践を展開することにより、学生の卒業後の地域社会での活躍に向けた円滑な橋渡しを可能とする教育を実施します。
- ・専門科目では、学生が各分野の専門的技能及び知識を深めるため、演習・実践科目と理論科目の内容的な往還を意識した教育課程を実施するとともに、課題解決型そしてアクティブ・ラーニング等の手法を駆使した教育を展開します。
- ・順序性のある体系的な教育課程をカリキュラムマップ・カリキュラムツリー等で明示し、学生の主体的な学びを入学時から支援します。
- ・各科目の授業計画(事前・事後の学習を含む。)や成績評価(評価方法、評価基準等)、関連科目等を明記した「シラバス」を作成し、学生に対して、履修登録前に明示することで、学生の主体的な学びを支援します。

#### 【学修成果の評価の方針】(各専攻共通)

○ 成績評価は、「北海道教育大学の成績の評価方法及び履修登録単位数の上限並びに修学指導等に関する取扱要項」による全学統一の取扱いに基づいて客観性・厳格性を確保します。成績評価は、講義、実験、実習、演習、実技等の授業形態に応じて、定期試験、課題レポート、発表及び討論等、適切な評価方法及び評価基準により、学修の成果を評価し、単位を与えるものとします。

#### 附 記

この方針は、令和4年4月1日から施行する。